

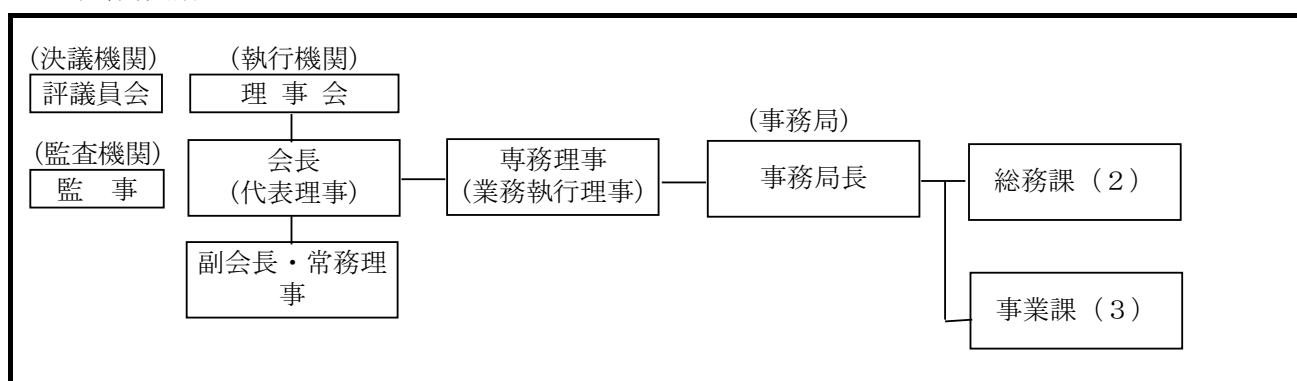
令和6年度 公益財団法人足立区スポーツ協会 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和7年5月1日現在

名 称	公益財団法人足立区スポーツ協会
所 在 地	足立区中央本町一丁目17番1号
設立年月日 公益認定	昭和23年 4月1日（平成2年1月25日財団法人化） 平成23年 4月1日公益財団法人化 令和 5年10月1日公益財団法人足立区体育協会から名称変更
代 表 者	会長 田中 ひろ子
職員数（実員）	常勤5名（派遣5名） 再任用1名 合計6名
基本財産	5億2,160万円（区出捐金：5億円/その他2,160万円）

2 組織機構図



3 令和6年度経営方針と重点事項

【経営方針】

◆スポーツ、レクリエーションの振興を図り、区民の心身の健康と、明るく豊かな生活形成に寄与すると共に、活力ある地域社会づくりに貢献する。

- （1）効果的な基本財産運用益の活用及び効率的な予算執行により安定した財務運営を図る。
- （2）スポーツカーニバル・リバーサイドウォーキング等の自主事業や補助事業に創意工夫を重ね活性化を図る。
- （3）各種媒体による加盟団体のPRを進め、加盟会員の増を目指す。
- （4）各加盟団体の組織力強化への支援、加盟団体の相互連携を進められるよう、体制を整備していく。

【重点事項】

- （1）スポーツインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）の向上及びコンプライアンス遵守のための各種研修会等を実施し、各加盟団体内における社会規範に則した活動とリスクマネジメントを徹底していく。
- （2）名称変更を契機にスポーツを広義に解釈し、パラスポーツ団体への理解を深めていく。

4 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 公益目的事業会計

決算額（単位：円）				令和５年度 (A)	令和６年度 (B)	増減(B-A)	
				39,196,302	37,072,234	△ 2,124,068	
主な内容				指標	令和５年度 実績(C)	令和６年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	スポーツ大会の開催	区民スポーツ大会	大会数	34 回	34 種目	0 回	
			参加者数	10,000 人	10,648 人	648 人	
			決算額	6,661,854 円	5,355,766 円	△ 1,306,088 円	
		東京都スポーツ大会 足立区予選会	大会数	14 回	14 種目	0 回	
			参加者数	2,932 人	3,161 人	229 人	
			決算額	686,955 円	387,284 円	△ 299,671 円	
		墨東五区大会	大会数	2 回	3 種目	1 回	
			参加者数	196 人	944 人	748 人	
			決算額	573,464 円	1,954,462 円	1,380,998 円	
	決算額計（単位：円）				7,922,273	7,697,512	△ 224,761
【内容】 区内在住・在勤・在学の小学生から高齢者を対象に、自分に合った競技レベルの大会や上部大会を目指す方に機会を提供し、日頃よりスポーツ・レクリエーション活動に親しんでいる区民の競技力向上を図る。 【効果】 区民大会及び都大会予選会については事業規模に変更はなかったが、１０％の競技者数増となった。一方で決算額は減となっているが、これは令和5年度に優勝杯・旗等を新調したことにより一時的に増となったことによる。 また、墨東五区大会については競技種目数の増及び競技特性による規模拡大により前年（R5：弓道・ソフトテニス→R6：卓球・空手・バレー）より参加者数・決算額は増となっている。							
イ	スポーツ教室・広場の実施	スポーツ教室	開催数	907 回	400 回	△ 507 回	
			参加者数	9,894 人	7,962 人	△ 1,932 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		スポーツ広場	開催数	510 回	516 回	6 回	
			参加者数	9,679 人	10,182 人	503 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		シニアスポーツ振興事業	開催数	5 回	11 回	6 回	
			参加者数	40 人	117 人	77 人	
			決算額	30,760 円	195,116 円	164,356 円	
	決算額計（単位：円）				30,760	195,116	164,356
【内容】 区民が気軽に参加できるスポーツ教室・広場を提供する。 ・スポーツ教室：幼児から高齢者まで年齢を問わず、初心者も気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室は年間を通じて実施する。 ・スポーツ広場：いつでも、だれでも、何回でも参加できるスポーツ広場は年間を通じて週１回程度開催している。 ・シニアスポーツ振興事業：シニア世代が参加できるスポーツ教室等を実施することで、高齢者の健康の維持・増進に寄与する。 【効果】 シニアスポーツ振興事業拡大（R5：サッカー、R6：サッカー、ゲートボール、テニス）のため、開催数・参加者数・決算額は増となった。							

ウ	指導者養成・育成及び紹介	指導者養成・育成	決算額	81,428 円	209,440 円	128,012 円
		指導者紹介	紹介数	2 人	1 人	△ 1 人
			決算額	0 円	0 円	0 円
		競技力向上	参加者数	415 人	333 人	△ 82 人
			決算額	199,000 円	138,000 円	△ 61,000 円
	決算額（単位:円）			280,428	347,440	67,012
【内容】 指導者養成・育成：地域スポーツにおける生涯スポーツの普及・振興と、公認スポーツ指導員の指導力を向上させる。 指導者紹介：上記指導員を各地域館のイベント等に紹介する。 競技力向上：各加盟団体において強化練習会等の競技スキル向上事業。						
エ	顕彰事業	スポーツ協会顕彰事業 (大会成績優秀者)	受賞者数	27 人	23 人	△ 4 人
			受賞団体数	4 団体	10 団体	6 団体
			決算額	47,545 円	82,504 円	34,959 円
		奨励金事業	受賞者数	61 人	64 人	3 人
			受賞団体数	10 団体	6 団体	△ 4 団体
			決算額	1,140,000 円	378,000 円	△ 762,000 円
決算額計（単位:円）			1,187,545	460,504	△ 727,041	
【内容】 体育協会顕彰事業：オリンピック、国際大会、全国大会等の最高レベルの大会へ出場資格を得た優秀な個人・団体を顕彰する。 奨励金事業：東京都大会以上の大会で3位以上の優秀な成績を収めた者を顕彰して、スポーツの発展と地域活動の促進に繋げる。 【効果】 奨励金事業（区補助金対象外）については要綱を改正し、奨励金額を細分化することで決算額を抑制することができた。						
オ	ジュニア育成	ジュニアスポーツ大会	参加者数	4,760 人	5,219 人	459 人
			決算額	2,028,067 円	2,008,700 円	△ 19,367 円
		ジュニア育成地域推進事業	参加者数	1,559 人	1,924 人	365 人
			決算額	3,725,287 円	4,286,721 円	561,434 円
	決算額計（単位:円）			5,753,354	6,295,421	542,067
	【内容】 ・ジュニアスポーツ大会：区内の少年・少女を対象として、各競技種目（15種目）の大会を開催し、地域社会の担い手を育成するとともに、日頃の練習成果を発揮する機会を提供する。 ・ジュニア育成地域推進事業：幼児から高校生、また初心者を対象として、競技力向上を目指す子ども達を育成し、競技スポーツの底辺拡充を図り、トップアスリートを育成する。 【効果】 ジュニアスポーツ大会については事業規模は変わらずだが、参加者数は増となった。ジュニア育成地域推進事業については、事業規模の拡大に伴い参加者数及び決算額が増となった。					

4 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

カ	各種大会選手派遣	東京都スポーツ大会 (春・夏・冬)	種目数	17 種目	21 種目	4 種目
			派遣者数	334 人	416 人	82 人
			決算額	1,272,080 円	1,308,566 円	36,486 円
		都民スポレクふれあい大会	種目数	3 種目	3 種目	0 種目
			派遣者数	81 人	92 人	11 人
			決算額	1,046,000 円	1,138,000 円	92,000 円
		スポーツフェスティバル東京 (旧: 都民生涯スポーツ大会)	種目数	11 種目	11 種目	0 種目
			派遣者数	140 人	148 人	8 人
			決算額	164,000 円	150,512 円	△ 13,488 円
		墨東五区大会	種目数	11 種目	10 種目	△ 1 種目
			派遣者数	1,013 人	905 人	△ 108 人
			決算額	80,000 円	91,000 円	11,000 円
	決算額 (単位:円)			2,562,080	2,688,078	125,998
	【内容】 都民体育大会、都民スポレクふれあい大会、都民生涯スポーツ大会、墨東五区各種大会への選手と大会運営役員の派遣に対して交通費の補助として派遣費を交付し、競技力の向上を図る。なお派遣費についてはスポーツ大会派遣補助基準に基づき支出する。 ・都民体育大会 (23区内の会場は2,000円/日、三多摩及び関東地域の会場は3,000円/日、それ以外の会場は9,000円/日) ・都民スポレクふれあい大会・都民生涯スポーツ大会・墨東五区大会 (いずれも1,000円/日)					

キ	リバーサイドウォーキング・スポーツカーニバル	スポーツカーニバル	参加者数	4,118	7,321 人	3,203 人
			決算額	2,195,850 円	3,199,245 円	1,003,395 円
		リバーサイドウォーキング	参加者数	169	270 人	101 人
			決算額	814,452	958,654 円	144,202 円
	決算額 (単位:円)			3,010,302	4,157,899	1,147,597
	【内容】 ・スポーツカーニバル: 毎年「スポーツの日」に、スポーツに馴染みのない区民と運動・スポーツの楽しさを共有し、生涯スポーツ社会を実現するための普及、啓発事業として開催している。子どもから高齢者までスポーツ・レクリエーション活動の場を提供すると共に、体力保持のきっかけづくり、自分にあったスポーツの日常化を促進することを目的としている。 ・リバーサイドウォーキング: 区民のウォーキング愛好者から初心者を対象に、荒川河川敷扇大橋・鹿浜橋間の周回コース約8キロを自然に親しみながら歩き、足立区を知る機会とウォーキングの楽しさを提供し、体力の増進を図る。 ※前年 (令和5年度) はいずれも開催中止 ※参考として直近の開催年度 (平成30年) の参加者はスポカニ6821人、リバサイ366人 【効果】 両事業共に事業規模拡大により参加者増、決算額増となった。					

ク	機関紙の発行	年間掲載回数	12 回	12 回	0 回
	決算額 (単位:円)		7,653,646	5,836,332	△ 1,817,314
	【内容】 ホームページの運営や機関紙を発行し、各種スポーツ活動の情報を提供し、地域スポーツの振興と活動の情報を広く提供することにより底辺拡充とスポーツ振興の担い手を育成する。 【効果】 R5については、公社ニュース「トキメキ」を通じて各種大会や当協会の名称変更について周知・PRに努め、またトキメキ1月号については再印刷費用を負担したため、200万円弱の費用増となった。				

ケ	公益目的事業共通	人件費	職員数	6 人	6 人	0 人
			決算額	7, 326, 312	5, 386, 360 円	△ 1, 939, 952 円
		事務費（会計按分費等）	決算額	3, 469, 602	4, 007, 572 円	537, 970 円
	決算額（単位:円）			10, 795, 914	9, 393, 932	△ 1, 401, 982
	【内容】 ・人件費：固有職員の給料及び区派遣職員の共済負担金費用など ・事務費（会計按分費等）：協会運営のための事務費 【効果】 人件費は固有職員の減に伴い減となった。					

(2) 加盟団体助成事業会計

決算額（単位：円）				令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減(B-A)
				2, 110, 169	2, 717, 051	606, 882
主な内容			指標	令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	加盟団体助成事業	加盟団体活動補助金 交付事業	助成団体数	34 団体	33 団体	△ 1 団体
			決算額	1, 020, 000 円	990, 000 円	△ 30, 000 円
		後援事業	後援数	184 事業	186 事業	2 事業
			決算額	0 円	0 円	0 円
		スポーツ協会顕彰事 業 (役員等への顕彰)	被顕彰者数	111 人	12 人	△ 99 人
			決算額	221, 436 円	0 円	△ 221, 436 円
		賀詞交換会	参加者数	57 人	57 人	0 人
			決算額	285, 000 円	285, 000 円	0 円
		事務費等	決算額	583, 733 円	1, 442, 051 円	858, 318 円
		決算額（単位:円）			2, 110, 169	2, 717, 051
【内容】 ・加盟団体活動補助金の支給：各団体につき一律3万円の支給 ・後援事業：区と共同で各加盟団体の自主大会等を後援する。 ・スポーツ協会顕彰事業（役員等への顕彰）：スポーツ協会の運営に多年にわたりご協力頂いた方への顕彰 ・賀詞交換会：毎年1月の初旬から中旬に開催。各加盟団体の会長等が出席。 出席者は全員一律5,000円の会費制とし、会費のみで運営をしている。 ・事務費（会計按分費等）：上記（1）ケを参照 【効果】 ・役員等への顕彰については、R6は感謝状対象者のみで退任者がいなかったため、決算額は0となった。 ・事務費等については新設された東京都暑さ対策事業補助金を活用し、消耗品（塩タブレットなど）を購入したため増となった。						

(3) 法人会計

決算額（単位：円）				令和 5 年度 (A)	令和 6 年度 (B)	増減 (B-A)
				2, 931, 129	4, 192, 894	1, 261, 765
主な内容			指標	令和 5 年度 実績 (C)	令和 6 年度 実績 (D)	増減 (D-C)
ア	法人会計	理事会	開催数	4 回	3 回	△ 1 回
			現員数	11 人	9 人	△ 2 人
		評議員会	開催数	2 回	2 回	0 回
			現員数	12 人	12 人	0 人
		経営部門会議	開催数	24 回	25 回	1 回
			現員数	42 人	40 人	△ 2 人
	決算額（単位:円）			2, 931, 129	4, 192, 894	1, 261, 765
	役員報酬			40, 000	40, 000	0
	福利厚生費			264, 629	253, 954	△ 10, 675
	旅費交通費			325, 556	21, 360	△ 304, 196
	通信運搬費			325, 861	183, 641	△ 142, 220
	消耗品費			496, 249	77, 038	△ 419, 211
修繕費			103, 510	103, 510	0	
印刷製本費			122, 100	0	△ 122, 100	
手数料			110, 910	65, 748	△ 45, 162	
光熱水費			4, 717	5, 312	595	
賃借料			219, 000	165, 000	△ 54, 000	
保険料			262, 691	316, 625	53, 934	
交際費			86, 256	54, 080	△ 32, 176	
租税公課			9, 650	13, 800	4, 150	
委託料			330, 000	2, 673, 026	2, 343, 026	
支払負担金			160, 000	160, 000	0	
雑費			70, 000	59, 800	△ 10, 200	
【内容】 ・理事会及び評議員会開催及び法人に係る渉外経費及び協会運営にかかる経費（会計按分費も含む。）を計上。 経営部門会議：執行役員会、企画財務部会、事業部会、広報部会、指導普及部会、顕彰審査委員会 【効果】 法人の運営費用について、弁護士相談費用の増大により委託料が増となった。						

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

単位：円

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益					
基本財産受取利息	〈1〉	1,464,402	2,168,050	703,648	R6.3月の国債購入に伴う利金の増に伴う増
基本財産運用益計	〈2〉	1,464,402	2,168,050	703,648	
特定資産運用益					
特定資産利息収入	〈3〉	210	5,024	4,814	
特定資産運用益計	〈4〉	210	5,024	4,814	
受取会費					
加盟団体分担金収入	〈5〉	680,000	860,000	180,000	バウンドテニス協会加盟金の増及び休会団体増による減
受取会費計	〈6〉	680,000	860,000	180,000	
事業収益					
その他事業収入	〈7〉	318,800	339,000	20,200	
事業収益計	〈8〉	318,800	339,000	20,200	
受取補助金等					
区事業補助金収入	〈9〉	17,515,908	17,692,542	176,634	
・スポーツ大会の開催	〈9-1〉	7,922,273	7,697,512	△ 224,761	夏季大会規模縮小による減及び大会経費の増
・指導者養成・育成及び紹介	〈9-2〉	81,428	209,440	128,012	
・ジュニア育成	〈9-3〉	2,028,067	2,008,700	△ 19,367	
・各種大会派遣	〈9-4〉	2,531,500	2,640,558	109,058	
・機関紙の発行	〈9-5〉	4,952,640	5,136,332	183,692	
区運営補助金収入	〈10〉	14,376,640	12,977,191	△ 1,399,449	
・機関紙の発行	〈10-1〉	568,652	700,000	131,348	
・公益目的事業共通	〈10-2〉	10,795,914	9,393,932	△ 1,401,982	固有職員減に伴う人件費の減
・加盟団体助成事業	〈10-3〉	269,201	356,259	87,058	
・法人会計	〈10-4〉	2,742,873	2,527,000	△ 215,873	
都体育協会補助金収入	〈11〉	1,106,122	2,355,440	1,249,318	都暑さ対策事業補助金導入による増
都体協ジュニア育成事業補助金収入	〈12〉	3,725,287	4,286,721	561,434	新規・事業拡大に伴う増
受取補助金等計	〈13〉	36,723,957	37,311,894	587,937	
受取負担金					
受取負担金	〈14〉	1,548,396	2,070,000	521,604	スポーツカーニバル及びリバーサイドウォーキング事業拡大に伴う増
受取負担金計	〈15〉	1,548,396	2,070,000	521,604	
受取寄付金					
寄付金収入	〈16〉	0	0	0	
受取寄付金計	〈17〉	0	0	0	
雑収益					
受取利息	〈18〉	233	783	550	
雑収益	〈19〉	0	0	0	
雑収益計	〈20〉	233	783	550	
経常収益計	〈21〉	40,735,998	42,754,751	2,018,753	

(2) 経常費用

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
事業費					
給料手当	<22>	2,242,468	0	△ 2,242,468	固有職員減に伴う減
臨時雇賃金	<23>	448,876	567,807	118,931	
福利厚生費	<24>	4,719,742	4,966,667	246,925	
旅費交通費	<25>	489,062	783,552	294,490	
通信運搬費	<26>	324,827	685,925	361,098	スポーツカーニバル事業拡大に伴う増
消耗品費	<27>	3,361,273	3,760,852	399,579	スポーツカーニバル事業拡大に伴う増
修繕費	<28>	469,601	576,070	106,469	
印刷製本費	<29>	2,807,923	698,171	△ 2,109,752	R5はトキメキ再印刷費(約213万円)計上による支出増あり
燃料費	<30>	28,859	17,566	△ 11,293	
会議費	<31>	285,000	285,000	0	
賃借料	<32>	2,052,233	1,564,010	△ 488,223	R5はリバーサイドウォーキング事業にてトイレ設置に伴う支出増あり
保険料	<33>	294,492	374,320	79,828	
諸謝金	<34>	328,800	545,850	217,050	
補助金	<35>	15,720,813	17,713,060	1,992,247	墨東五区大会種目増に伴う増
委託料	<36>	5,914,040	6,479,916	565,876	
奨励金	<37>	1,140,000	378,000	△ 762,000	要綱改正に伴う奨励金単価減による減
手数料	<38>	229,787	264,777	34,990	
光熱水費	<39>	73,917	100,942	27,025	
支払利息	<40>	166,594	0	△ 166,594	
雑費	<41>	208,164	0	△ 208,164	R5は退任者記念品による増、R6は退任者なし
租税公課	<42>	0	26,800	26,800	
事業費計	<43>	41,306,471	39,789,285	△ 1,517,186	
管理費	<44>				
役員報酬	<45>	40,000	40,000	0	
福利厚生費	<46>	264,629	253,954	△ 10,675	
旅費交通費	<47>	325,556	21,360	△ 304,196	
通信運搬費	<48>	325,861	183,641	△ 142,220	
消耗品費	<49>	496,249	77,038	△ 419,211	R5は名称変更のための物品購入のための支出あり
修繕費	<50>	103,510	103,510	0	
印刷製本費	<51>	122,100	0	△ 122,100	R5は名称変更挨拶状作成による支出あり
手数料	<52>	110,910	65,748	△ 45,162	
光熱水費	<53>	4,717	5,312	595	
賃借料	<54>	219,000	165,000	△ 54,000	
保険料	<55>	262,691	316,625	53,934	
交際費	<56>	86,256	54,080	△ 32,176	
租税公課	<57>	9,650	13,800	4,150	
委託料	<58>	330,000	2,673,026	2,343,026	会計コンサル移管及び弁護士相談費用の増による増
支払負担金	<59>	160,000	160,000	0	
雑費	<60>	70,000	59,800	△ 10,200	
管理費計	<61>	2,931,129	4,192,894	1,261,765	
経常費用計	<62>	44,237,600	43,982,179	△ 255,421	
当期経常増減額	<63>	△ 3,501,602	△ 1,227,428	2,274,174	

2. 経常外増減の部

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
(1) 経常外収益					
経常外収益計	〈64〉	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	〈65〉	0	0	0	
当期経常外増減額	〈66〉	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	〈67〉	△ 3,501,602	△ 1,227,428	2,274,174	
当期一般正味財産増減額	〈68〉	△ 3,501,602	△ 1,227,428	2,274,174	
一般正味財産期首残高	〈69〉	10,071,053	6,569,451	△ 3,501,602	
一般正味財産期末残高	〈70〉	6,569,451	5,342,023	△ 1,227,428	

II 指定正味財産増減の部

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
基本財産受取利息	〈71〉	1,464,402	2,168,050	703,648	R6.3月の国債購入に伴う利金の増に伴う増
受取補助金等計	〈72〉	1,464,402	2,168,050	703,648	
指定正味財産からの振替					
一般正味財産への振替額	〈73〉	1,464,402	2,168,050	703,648	
指定正味財産からの振替計	〈74〉	1,464,402	2,168,050	703,648	
当期指定正味財産増減額	〈75〉	0	0	0	
指定正味財産期首残高	〈76〉	521,600,000	521,600,000	0	
指定正味財産期末残高	〈77〉	521,600,000	521,600,000	0	

III 正味財産期末残高

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
正味財産期末残高	〈78〉	528,169,451	526,942,023	△ 1,227,428	